

土浦の自衛隊基地

茨城県内には**実戦出撃基地**として、**航空自衛隊百里基地**があり、2つの飛行隊（F15 40数機）と偵察飛行隊（RF-4Jファントム 約28機）のほか救難隊と基地防衛隊などが配備されている。首都圏の防空を担う**航空自衛隊の高射隊（パトリオット）**も霞ヶ浦駐屯地の陸上自衛隊航空学校の一角に配備されている。

後方支援の基地としては**霞ヶ浦駐屯地**の陸上自衛隊武器補給処が全国支援の補給統制本部と関東補給処を兼ねている。阿見町には需品補給処朝日燃料支処があり、陸上自衛隊航空学校、武器学校もあることから土浦市、阿見町は陸上自衛隊の重要な基地群を抱える地域になっている。その他では**古河駐屯地**（総和町）の施設補給処と施設中隊、**勝田駐屯地**（ひたちなか市）の施設学校もある。

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地（112万平米）

（平成2年から大幅に増強された。以前からの部隊1、700名、十條から620名、大宮武器補給処から80名、大宮通信補給処から510名、合計3、000名以上？）

I 霞ヶ浦武器補給処（陸幕直属）（85・5万平米）

陸上自衛隊武器補給統制本部

*十條の陸自武器補給本部（620名）が'98・4月に土浦へ移転

（全国の基地の武器・弾薬・誘導弾・火器車両・航空機の部品の保管・検査事務）

関東補給処

（東方管内の武器等の補給、整備・保管を行う現業部門。）

組織 企画室、総務部、調査会計部、情報処理部、火器車両部、弾薬部、

誘導武器部、化学部、航空部、通信電子部 1室9部

*第306武器野整備中隊、基地業務隊、警務隊。

航空部 航空機の高段階整備、航空部品の調達、補給、修理、技術改善研究、技術援助など。

***調達実施本部**は市ヶ谷（470名）

補給本部からの調達要求資料に基づいて陸・海・空三自衛隊の武器・弾薬・需品・衛生・通信・施設の「中央調達品」の調達をおこなう。

「地方調達品」は各地方補給処で調達することもある。

***補給統制本部**は十條（1、500名）

陸・海・空の武器・弾薬・需品・衛生・通信・施設の補給業務の統括。企画・総合調整や統制、調達事務にあたる。

需品、武器、施設、通信、衛生の各中央補給処と資材統制隊を集約したもの。

*松戸需品補給処 需品学校、高射特科群と併せて1、100名

*通信補給処 大宮市から、統制部門は十條、現業部門は霞ヶ浦駐屯地に移動

*施設補給処（茨城総和町）

*衛生補給処（世田谷）

*吉井弾薬支処（群馬、多野郡吉井、138・7万平米、200名）

霞ヶ浦補給処では武器の完成品と部品を扱い、整備もおこなっている

陸自装備

89式小銃、5・56ミリ機関銃、12・7ミリ重機関銃、81ミリ迫撃砲
120ミリ迫撃砲、96式自走120ミリ迫撃砲、87式自走高射機関砲、
87式対戦車誘導弾発射装置、89式装甲戦闘車、96式装輪装甲車、
82式指揮・通信車、87式偵察警戒車、87式砲側弾薬車、90式戦車、
90式戦車回収車、91式戦車橋、78式雪上車、化学防護車
155ミリりゅう弾砲（FH70）、203ミリ自走りゅう弾砲
多連装ロケットシステム（MLRS）、東方用改良ホークⅢ、
88式地对艦誘導弾

- (へり) OH1（観測用へり、2人、生存性を高めたOH6Dの後継機）、
OH6D（連絡・偵察・観測用へり、1+3人、OH6Jの後継機）、
OH6J（連絡・偵察用、1+3人）
CH47J（輸送用へり、3+55人、兵員・大型車両輸送等）、
CH47JA（CH47Jの改良、大型燃料タンクにより長距離輸
送が可能、1、000KM）、
UH1H（多用途へり、2+11人）、UH1J（UH1Hの改良）
UH60JA（多用途へり、2+14人、UH1Jと併行装備）、
LR-1（連絡偵察用双発機、2+5人）、LR-2（LR-1の後継機）
AH1S（ミサイル、ロケット弾搭載対戦車へり、TOWミサイル、
70mmロケット、20mm機関砲装備）、
T5（初級練習機）、TH55（練習機）、OH6（操縦教育用）
V107（救難用へり、2+26人、重量補給品の輸送、救援機）

II 需品補給処朝日燃料支所（阿見町9・3平米、100名）

松戸の補給処の支処、航空機用、戦車・一般車両用、施設用燃料の補給

III 陸上自衛隊航空学校霞ヶ浦分校（阿見町）

（陸幕直属だが霞ヶ浦駐屯地司令の管轄下にある）

明野本校は研究、運用、操縦、航空管制、航空気象などの教育。

宇都宮分校は操縦（固定翼機、回転翼機）、

霞ヶ浦分校は操縦（回転翼機）、航空整備、航空補給、航空通信の訓練校。

IV 航空自衛隊霞ヶ浦分屯地（阿見町陸自航空学校の一角にある）

（空自直属だが陸上自衛隊航空学校の一角にある）

第1高射群第3高射隊（100名）首都圏の北部を守る実戦部隊。

パトリオット 5基配備（1基にミサイル4発装備、5基で1セット）

有効射程70Km。北は日立市、南は銚子、東京都品川区、練馬、朝霞、西は栃木県館林、佐野などをカバーしている。

PAC3（弾道ミサイル迎撃用ミサイル）2基配備

2008年3月に旧パトリオットミサイル2基と交代で配備された。

射程20キロメートルと言われて旧型より射程は短い、旧型が対航空機用であるのに対して、弾道ミサイル迎撃用として移動して配備につく。

気象隊 東部方面管制気象隊（ 名）

* 第1高射群本部は入間。1高隊（習志野）2高隊（武山）4高隊（入間）

V 陸上自衛隊土浦駐屯地（42万平米、武器教導隊600名）

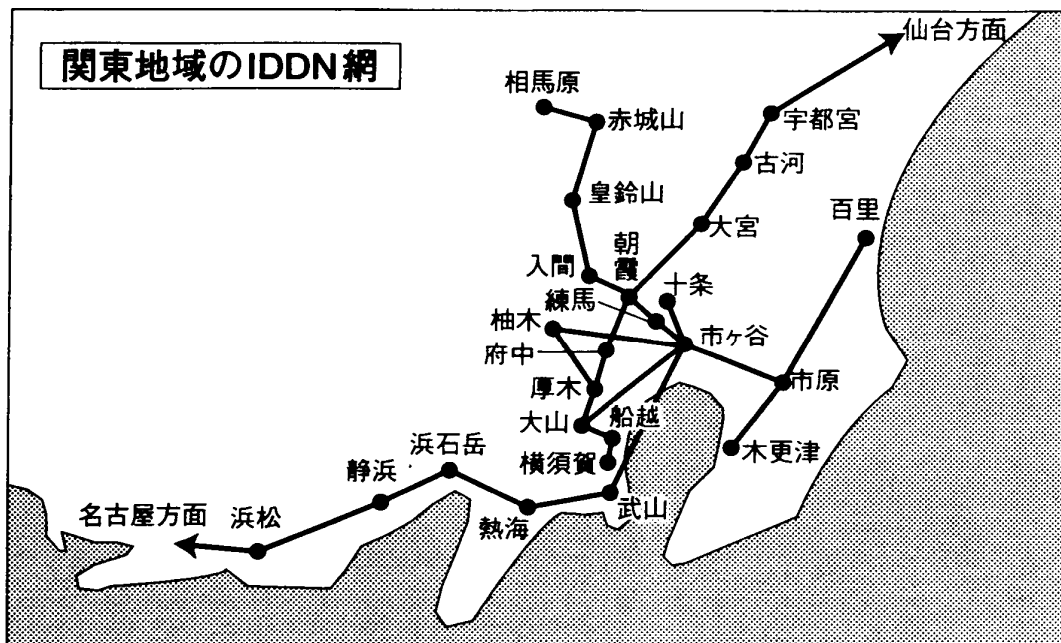
阿見町にあるが土浦駐屯地となっている。旧土浦海軍航空隊（予科練）跡地の一部にあるためと思われる。

（土浦海軍航空隊は現駐屯地から霞ヶ浦総合公園までの範囲にあった）

武器学校＝あらゆる武器整備・操作の訓練をおこなう。

射撃訓練も1部行っている。

一隅に旧土浦海軍航空隊（予科練）の記念館「雄翔館」がある。



TSUCHIURA-SHI

C= 22.013, B=36.83499387N L=146.19326457E S= 4088 GFS.11

霞ヶ浦駐屯地俯瞰写真

C22-13-213



空自分遣基地 (パトリオット基地)

陸自航空学校 (へり飛行場)

陸上自衛隊関東補給処



至荒川沖

陸自航空学校

航空自衛隊パトリオット基

戦時中の基地周辺配置図

海軍航空廠と掩体壕の配置

